＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	文化振興課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	生きがい・元気づくり支援プログラム
施策名	【重点】文化とスポーツの力を活用した地域の活性化

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	文化芸術に関わった（自ら実践・直接鑑賞した）人の割合	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	43.4	43.9	44.4	45.0
現況値	42.4%	実績値	42.4			
目標値	45.0%	達成率（%）	97.7			
備考		達成度	3			

指標名	県内で行われたスポーツ大会やスポーツの試合を観戦した人の割合	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	23.0	23.5	24.0	25.0
現況値	21.7%	実績値	24.8			
目標値	25.0%	達成率（%）	107.8			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

・文化芸術で「地域の新たな魅力創出」推進事業
・おかやま県民文化祭開催事業
・新進美術家育成支援事業
・おかやまトップクラブチーム応援加速事業
・地域クラブ活動環境整備事業

4 施策達成レベル

3.5	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

文化芸術に関わった人の割合は増加しなかったが、文化政策においては、美作三湯芸術温度2025などアートイベントが開催されたことにより広域的なにぎわい創出がなされた。文化芸術の力を活用した地域のにぎわい創出事業では地域住民と連携した活動が行われた。
スポーツ施策では、トップクラブチームの応援イベント「おかやまスポーツフェスト」を開催するなど、スポーツを通じた県民の一体感の醸成や、多様な主体がスポーツに親しみ楽しむことができる機会の創出等に取り組んだ。
学校部活動の地域展開に向け、県教委と連携して合同連絡会を開催し、実証事業の進捗状況や課題、成果などを市町村や競技団体等と共有を図ったほか、市町村等と連携し、指導者の確保に努めるとともに、指導者の資質向上のための研修会を開催し、地域クラブ活動の環境整備を進めた。

6 今後の施策推進に向けての課題

文化施策においては、今後とも、市町村、関係団体、地域住民等と連携しながら、子ども・若者をはじめとする県民が文化に触れ、親しみ、実践することができる環境整備を進めていくとともに、文化の力を活用した地域のにぎわい創出に取り組む必要がある。
スポーツ施策においては、スポーツに関わる人のさらなる増加に向けて、引き続き、より効果的な企画内容について検討する。
学校部活動の地域展開に向けて、市町村、競技団体等と連携を図り、地域の実情に応じた取組を支援するとともに、指導者のさらなる確保と資質向上に取り組む必要がある。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	スポーツ振興課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	生きがい・元気づくり支援プログラム
施策名	【重点】生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりの推進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	成人男女の1週間に1日以上運動・スポーツをする割合	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	49.0	52.0	55.0	55.0
現況値	43.8%	実績値	44.4			
目標値	55.0%	達成率（%）	90.6			
備考		達成度	3			

3 関連する事業名

・おかやま Sport in Life 推進事業
・おかやまトップクラブチーム応援加速事業

4 施策達成レベル

3.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

・県内のスポーツイベントや研修会等の情報をまとめたポータルサイト「おかやまスポーツナビ」を通じて、県民のスポーツ活動への参加を促進したほか、利便性がより高まるよう「おかやまスポーツナビ」の情報検索機能を改修した。
・トップクラブチームの応援イベント「おかやまスポーツフェスト」を開催するなど、スポーツを通じた県民の一体感の醸成や、多様な主体がスポーツに親しみ楽しむことができる機会の創出等に取り組んだ。

6 今後の施策推進に向けての課題

・県民のスポーツ活動をより一層促すため、県民のニーズに沿ったスポーツ関連情報の発信等、スポーツに触れる機会を創出する必要がある。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	スポーツ振興課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	生きがい・元気づくり支援プログラム
施策名	【重点】トップアスリートの育成・強化等の推進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	国民スポーツ大会における男女総合成績（天皇杯）順位	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	10	10	10	10
現況値	15位	実績値	24			
目標値	10位台	達成率（%）	－			
備考		達成度	2			

3 関連する事業名

・おかやまスポーツ大会開催支援事業
・世界へ羽ばたくアスリート支援事業
・岡山県アスリート就職支援事業
・おかやま次世代アスリート事業

4 施策達成レベル

2.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

・県内で開催される西日本規模以上のスポーツ大会の運営を支援することで、競技に関わる人材の育成を含む競技力の向上を図った。
・本県からオリンピック等に出場する選手を一人でも多く輩出することを目指して強化指定選手を選考し、大会等への参加、競技用具、コンディショニング等に関する費用を支援して、トップアスリートの競技力向上を図った。
・競技団体の指導者による専門的指導が受けられる競技体験会を開催し、競技の普及や競技者の確保を図った。

6 今後の施策推進に向けての課題

・競技力の強化や競技者の確保に窮している競技もあるため、より効果的な取組を検討する。
・指導者の高齢化や減少が進み、次世代を担う若手・中堅指導者の育成が急務となっている競技団体が増えていることから、関係団体等と連携し、スポーツ振興の担い手を育成する必要がある。

<様式2>

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

		担当部課室	県民生活課
重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	生きがい・元気づくり支援プログラム		
施策名	【推進】さまざまな分野におけるボランティア活動等の支援		

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	岡山県ボランティア・NPO活動支援センターの利用者数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	40,500	41,000	41,500	42,000
現況値	39,507人/年	実績値	40,373			
目標値	42,000人/年	達成率（%）	99.7			
備考		達成度	3			

3 関連する事業名

・コミュニティ活動推進事業

4 施策達成レベル

3.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

ボランティア・NPO活動支援センター（ゆうあいセンター）においては、指定管理者制度により県民サービスの向上と経費縮減を図っている。令和7年度は、指定管理者において、施設の管理業務のほか「ボランティア・NPO人材育成交流事業」等の特定事業及び「ボランティア・NPOスタートアップ支援プログラム」等の自主事業に取り組んだ結果、利用者数は目標を127人下回る40,373人であった。

6 今後の施策推進に向けての課題

ボランティア・NPO活動支援センターの運営や事業内容の充実に努めるとともに、多くのボランティア・NPOにとって、収入・資金不足、人材・後継者の確保が活動継続に向けて重要な課題となっていることから、ボランティア・NPOに対し、地域活動が促進されるよう効果的な情報提供、相談等を行うとともに、これらを支援する組織・団体との連携強化を進める必要がある。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	人権・男女共同参画課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	生きがい・元気づくり支援プログラム
施策名	【推進】「男女が共に輝くおかやまづくり」の推進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	ウィズセンター利用者数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	14,200	14,800	15,400	16,000
現況値	13,142人/年	実績値	15,596			
目標値	16,000人/年	達成率（%）	109.8			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

・女性のキャリア形成応援事業
・男女共同参画ゼミナール事業
・ウィズカレッジ事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

地域における男女共同参画のリーダーを養成する「男女共同参画ゼミナール」や、多様な社会課題をテーマとした「ウィズカレッジ事業」を開催した。アンコンシャス・バイアス、LGBTQ、防災等の視点を取り入れた意識啓発を行い、社会生活のあらゆる場面における意識醸成を図った。特に情報コーナーの充実やSNS等を活用した効果的な情報発信により、ウィズセンターの利用者数は15,596人と、目標値の14,200人を9.8%超えて、地域における参画推進の拠点として着実に実績を積み上げることができた。

6 今後の施策推進に向けての課題

男女共同参画の拠点であるウィズセンターの認知度をさらに向上させ、一層の利用促進を図ることが課題である。そのため、各種講座や研修内容の充実を図るとともに、広報活動を強化する必要がある。また、多様な主体が共に社会づくりに参画できるよう、地域での参画をより広範に進めるため、出前講座の実施などを通じて、県内各地域における意識醸成をさらに深めることが不可欠である。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	文化振興課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	生きがい・元気づくり支援プログラム
施策名	【推進】県民が文化に親しめる環境づくりの推進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	おかやま県民文化祭の主催・参加プログラム件数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	181	184	187	190
現況値	174件/年	実績値	142			
目標値	190件/年	達成率（%）	78.5			
備考		達成度	1			

3 関連する事業名

・企画展事業費
・前川建築魅力発信事業

4 施策達成レベル

1.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

県立美術館で、7件の特別展を実施したが、入館者数は前年度を大きく下回った。天神山文化プラザでは夏休み期間に子供向けワークショップを開催したこともあり、利用者数は前年度を上回った。また、県民文化祭については、参加事業数、参加者数ともに前年度を下回った。

6 今後の施策推進に向けての課題

県立美術館の特別展はその内容により入館者数が大きく増減するが、幅広い世代がより豊かな体験を得られるように様々な取組を展開する必要がある。
県民文化祭については、近年、参加事業数、参加者数ともに減少傾向にあることから、プログラム内容や広報活動の充実を図る必要がある。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	国際課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	生きがい・元気づくり支援プログラム
施策名	【推進】外国人を含むすべての人が住みやすい多文化共生社会づくりの推進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	多文化共生関連事業等への参加者数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	6,975	7,350	7,725	8,100
現況値	6,597人/年	実績値	6,785			
目標値	8,100人/年	達成率（%）	97.3			
備考		達成度	3			

3 関連する事業名

・岡山国際交流センター管理運営事業

4 施策達成レベル

3.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

多言語による生活相談・情報提供のほか、日本語教室のない空白地域におけるモデル教室の開設や通訳ボランティアの養成等のコミュニケーション支援、各種交流会の開催を通じた国際理解の促進など、多文化共生の地域づくりを推進した。

6 今後の施策推進に向けての課題

今後、県内の在住外国人はますます増加することが見込まれることから、社会情勢や地域の実情の把握に努めるとともに、様々なニーズに対応できるよう、事業内容の改善や工夫を図るなど、よりきめ細やかに事業を実施していく必要がある。

<様式2>

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	人権・男女共同参画課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	生きがい・元気づくり支援プログラム
施策名	【推進】人権尊重の社会づくりの推進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	人権啓発講座・研修会の参加者数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	6,000	6,000	6,000	6,000
現況値	5,247人/年	実績値	5,171			
目標値	6,000人/年	達成率（%）	86.2			
備考		達成度	3			

3 関連する事業名

・人権啓発・研修事業

4 施策達成レベル

3.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

多くの方が人権啓発講座・研修会に参加しており、人権についての正しい理解と認識を深めることができた。

6 今後の施策推進に向けての課題

参加者のさらなる増加に向け、参加者の関心が高まるようなテーマの選定や、広報等を行いながら、引き続き人権啓発講座・研修を実施する必要がある。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	生涯学習課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	生きがい・元気づくり支援プログラム
施策名	【推進】生涯学習活動の推進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	県生涯学習センター主催の人材育成に係る講座参加者数（累計）	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	1,470	1,960	2,450	2,940
現況値	490人	実績値	1,541			
目標値	2,940人	達成率（%）	107.2			
備考	達成率は現況値からの増加数で算出	達成度	4			

3 関連する事業名

・生涯学習センター主催事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

従来の広報活動（チラシ・SNS・教育事務所経由）に加え、知事部局が所管する関係団体へ情報を届けることで、新たな参加者の獲得につながり、当年度の目標参加者数の1，470名を上回る1，541名の参加者を確保することができ、持続可能な地域づくりを担う人材の育成に貢献できた。

6 今後の施策推進に向けての課題

引き続き、大学、市町村、NPO等の団体、企業等へのチラシ配布やSNSでの周知を行うとともに、研修のターゲット層へ確実に情報を届けるために、周知先を検討する。さらに、研修参加者にデジタルオープンバッジへの登録・活用を促し、個人の学習意欲のさらなる喚起と各研修参加者がつながりやすい環境の整備に努める。